

診療上の情報公開用文書

2023 年 11 月 20 日作成 第 2 版

実施内容	ミコフェノール酸モフェチル
対象患者	免疫関連有害事象による肝障害のうちステロイド抵抗性の患者
目的・概要	<p>免疫チェックポイント阻害剤の副作用として、免疫関連有害事象が知られています。その中でも肝障害は頻度の高い事象として、「がん免疫療法ガイドライン第3版（日本臨床腫瘍学会編）」に治療方針が定められています。同ガイドラインによると、ステロイドの投与が基本的な治療ですが、効果がない場合にミコフェノール酸モフェチル 1 g を1日2回継続投与すること（基本的に肝機能が改善するまで）が推奨されています。</p> <p>* 現時点で厚生労働省からはこのような目的に対する本剤の使用（適応）が認められていないので、投与した場合は適応外使用となります。</p>
実施期間	2023 年 12 月から
予想される不利益	易感染状態となることで、日和見感染のリスクが増す可能性があります。
予想される不利益への対策	<p>定期的に日和見感染のスクリーニングを実施します。</p> <p>* このような適応外使用においては、厚生労働省の定める医薬品の副作用による疾病・障害等の健康被害を受けた方への救済制度（医薬品副作用被害救済制度）の対象外となります。</p>
<p>* 上記の治療について病院ホームページで情報を公開するとともに、使用に際しては患者への説明と同意を実施してから投与します。ご同意できない場合や、ご質問がある場合は、まずは主治医へご相談ください。または、下記の問い合わせ先までご連絡ください。</p>	
問い合わせ先： 〒241-8515 横浜市旭区中尾2丁目3番2号 地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター 医療安全推進室 電話番号：045-520-2222(代表)	